

平成 2 8 年度中学入試

[後期 A 入試]

社会科 問題

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. この問題冊子は、表紙を含めて 8 ページあります。

試験中に、印刷がはっきりしなかったり、ページの乱れや抜け落ちに気づいたりした場合は、手を上げて監督者に知らせなさい。
3. 解答用紙は別に配布されます。解答はすべてその解答用紙に記入しなさい。
4. 問題冊子の余白等は下書きなどに利用してよろしいが、どのページも切り離してはいけません。

[後期 A 入試] 受験番号 _____

金蘭千里中学校

金蘭千里中学校の生徒4人が「金属と日本の歴史」というテーマの調べ学習のあとに感想を述べている。それに関連したあとの問いに答えなさい。

ケンタ：僕は銅鐸に惹かれた。どうやって使われていたのだろう。なぜ横に寝かせて地中に埋められていることが多いのだろう。昨年、7つの銅鐸が発見された淡路島に行きたいなあ。

チサト：今回の学習で、古代の人々が金属が持つ異質な輝きに魅せられていたことがよくわかった。だからこそ古墳の副葬品として金属を埋葬したのね。

アキラ：仏教が金銀銅に与えた影響について考えさせられた。古墳という閉じた空間に入れられていたものが、東大寺の大仏のように人々の目に触れる存在に解放された意義は大きいと思う。

センリ：中世の遺跡を調べたら、金属が権力を誇示するものから、分銅、茶道具、貨幣のように日常生活に取り入れられていった姿がよくわかった。おもしろかったのは、日用の食器類が金属でつくられなかったこと。日本で本格的な金属製の食器が見られるようになったのは、西洋流のフォークやナイフなどが登場する19世紀中ごろ以降なんだった。

ケンタ：日本における金属の発展に欠かせないのは鉱山の開発だよ。自国で金属資源を産出する。それから金属を精錬し加工する。その両方の技術が必要だと感じた。

チサト：金属が武器に使われた歴史を忘れてはならないと思う。刀はもちろん鉄砲、大砲、爆弾。私は金属を戦争のために使ってほしくないな。

アキラ：反省すべきは戦争だけではない。金属の毒性による公害、鉱山開発による環境破壊も人が引き起こすもの。繰り返されてきた歴史を、未来に活かさなければならぬと思う。

センリ：また違うテーマ、違った視点で歴史を勉強したくなったね。

(1) 下線部 が使われていた時代のようなすを述べた文として正しいものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア．青銅製の器具を使って、縄文土器を作っていた。
- イ．鉄製の槍を使って、ナウマンゾウなどの動物を捕えていた。
- ウ．青銅製のはにわを使ったまじないが行われていた。
- エ．鉄製の鎌を使って、稲の刈り取りが行われていた。

(2) 下線部 は、奈良時代につくられた二つの歴史書において、最初にできた島と記述されている。その歴史書とは『古事記』ともう一つは何か。その名称を漢字4字で答えなさい。

(3) 下線部 について、ある2か所の前方後円墳から、5世紀に大和朝廷の大王だったワカタケルの名が刻まれた鉄刀・鉄剣が見つかった。この発見から、大和朝廷の勢力がどのあたりまで及んでいたと考えられるか。最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア．九州地方を中心に近畿地方まで
- イ．九州地方を中心に関東地方まで
- ウ．近畿地方を中心に九州地方から関東地方まで
- エ．近畿地方を中心に中国地方から中部地方まで

(4) 下線部 について、以下の問い ()・ () に答えなさい。

) 次の ^{みこと}詔 の「わたし」はだれか。漢字で答えなさい。

仏教をますますさかんにし、人々を救うために、大仏をつくる決心をした。国じゅうの銅を使って大仏をつくり、大きな山をけずって大仏殿^{でん}を建てる……。

わたしは天下の富と力を独占している。この富と力で大仏をつくるのである。

) 大仏造りに際し、人々の協力を得るうえで大きな役割を果たした僧^{そう}の名を漢字で答えなさい。

(5) 下線部 について、平清盛は中国と貿易をして貨幣を輸入した。このときの中国の王朝として正しいものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

ア．唐 イ．宋 ウ．元 エ．明

(6) 下線部 について、明治時代になると人々に西洋の考え方や制度、技術も導入されるようになり、西洋風のものをもてはやす風潮が生まれた。そのような風潮をあらわした次の文の空らん(X)に適切な語句を漢字4字で答えなさい。

ザン切り頭をたたいてみれば、(X)の音がする。

(7) 下線部 について、2007年に世界遺産に登録された島根県にある銀山の名称を漢字で答えなさい。

(8) 下線部 について、鉄鉱石から不純物を取り除き、鉄を残す作業を製鉄という。日清戦争に勝利した日本が、その賠償金^{ばいしょう}を使って福岡県につくった製鉄所の名称を漢字で答えなさい。

(9) 下線部 に関する文 A・B の正誤の組み合わせとして正しいものを、あとのア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

A．鉄砲は、種子島に漂着^{ひょうちやく}したポルトガル人によって伝えられた。

B．織田信長は、長篠の戦いで鉄砲を効果的に使い、今川氏の騎馬隊^{きば}を破った。

ア．A = 正、B = 正 イ．A = 誤、B = 正

ウ．A = 正、B = 誤 エ．A = 誤、B = 誤

(10) 下線部 について、以下の問い ()・ () に答えなさい。

) 明治時代には、栃木県の足尾銅山の鉱毒^{ひがい}が大きな被害をもたらした公害事件が発生した。それに対して、政府に鉱山の操業停止をうったえた衆議院議員の氏名を漢字で答えなさい。

) 熊本県において有機水銀が原因で発生した公害病を漢字で答えなさい。

日本経済に関する以下の統計表を見て、あとの問いに答えなさい。

- (1) [表1] は、日本の人口と年齢別人口割合の変化を示しており、空らんのア～ウには、「0～14歳」「15～64歳」「65歳以上」のいずれかがあてはまる。以下の問い()・()に答えなさい。

[表1]

	ア.	イ.	ウ.	総人口(人)
1970年	69.0%	7.1%	23.9%	1億372万
1990年	69.7%	12.1%	18.2%	1億2361万
2010年	63.8%	23.0%	13.2%	1億2806万
2030年	58.1%	31.6%	10.3%	(A)

1970年の数値に沖縄を含まない。2030年のデータは国立社会保障・人口問題研究所の中位推計値。(総務省統計局ホームページ、国立社会保障・人口問題研究所ホームページより)

-)「0～14歳」があてはまるものを、表中のア～ウから1つ選び、記号で答えなさい。
)空らん(A)にあてはまる数字を、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。
 ア. 約1億5200万 イ. 約1億4000万 ウ. 約1億2800万 エ. 約1億1600万

- (2) [表2] は、世帯構成の変化を示しており、空らんのア～ウには、「単独世帯」「夫婦のみの世帯」「親と未婚の子どもの世帯」のいずれかがあてはまる。以下の問い()・()に答えなさい。

[表2]

	ア.	イ.	ウ.	その他の二人以上世帯	不明	世帯数
1970年	20.3%	46.9%	9.8%	23.0%	0.0%	3030万世帯
1990年	23.1%	44.1%	15.5%	17.4%	0.0%	4067万世帯
2010年	32.4%	36.6%	19.8%	11.1%	0.1%	5184万世帯

「その他の二人以上世帯」は、三世帯世帯などのほか、親戚どうしてない人の世帯を含む。合計は100%になるよう調整していない。(日本国勢図会ジュニア版 日本のすがた 2015 より)

-)「単独世帯」があてはまるものを、表中のア～ウから1つ選び、記号で答えなさい。
)「親と未婚の子どもの世帯」に代表される家族のかたちの名称を何というか。解答らん()に合うように漢字1字で答えなさい。

- (3) [表3] は、二人以上の世帯の1か月間の消費支出の内訳の変化を示しており、空らんのア～ウには、「光熱・水道費」「交通・通信費」「教養・娯楽費」のいずれかがあてはまる。以下の問い()・()に答えなさい。

[表3]

	食料費	ア.	イ.	ウ.	住居費
1970年	34.1%	5.2%	9.0%	4.4%	4.9%
1990年	25.4%	9.5%	9.7%	5.5%	4.8%
2010年	23.3%	13.4%	11.0%	7.5%	6.3%

上記以外の「^{ひふく}被服及び^{はきもの}履物費」などの^{こうもく}項目は省略。(総務省統計局ホームページより作成)

)「交通・通信費」があてはまるものを、表中のア～ウから1つ選び、記号で答えなさい。

)「消費支出額に占める食料費の割合」の名称を、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

ア. 景気動向指数 イ. 経済成長率 ウ. エンゲル係数 エ. マイナンバー制度

(4) [表4] は、日本の産業別人口割合の変化を示しており、空らんのア～ウには、「第1次産業」「第2次産業」「第3次産業」のいずれかがあてはまる。以下の問い)・) に答えなさい。

[表4]

	ア.	イ.	ウ.
1970年	47.5%	35.1%	17.4%
1990年	59.2%	33.6%	7.2%
2010年	71.1%	24.9%	4.0%

分類不能の産業は第3次産業に含めた。(日本国勢図会ジュニア版 日本のすがた 2015 より)

)「第3次産業」があてはまるものを、表中のア～ウから1つ選び、記号で答えなさい。

)「第2次産業」の具体例として正しいものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

ア. 農業 イ. 製造業 ウ. 運輸・郵便業 エ. 金融・保険業

(5) [表5] は、発電のエネルギー源の割合の変化を示しており、空らんのア～ウには、「水力」「火力」「原子力」のいずれかがあてはまる。以下の問い)・) に答えなさい。

[表5]

	ア.	イ.	ウ.	新エネルギー	発電量 (会計年度)
1970年	76.4%	22.3%	1.3%	0.0%	3595 億 kWh
1990年	65.0%	11.2%	23.6%	0.2%	8573 億 kWh
2010年	66.7%	7.8%	24.9%	0.6%	11569 億 kWh
2013年	90.5%	7.8%	0.9%	0.8%	10907 億 kWh

(日本国勢図会ジュニア版 日本のすがた 2015 より)

)「水力」があてはまるものを、表中のア～ウから1つ選び、記号で答えなさい。

)「新エネルギー」の例とはいえないものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

ア. 風力 イ. 地熱 ウ. 太陽光 エ. 天然ガス

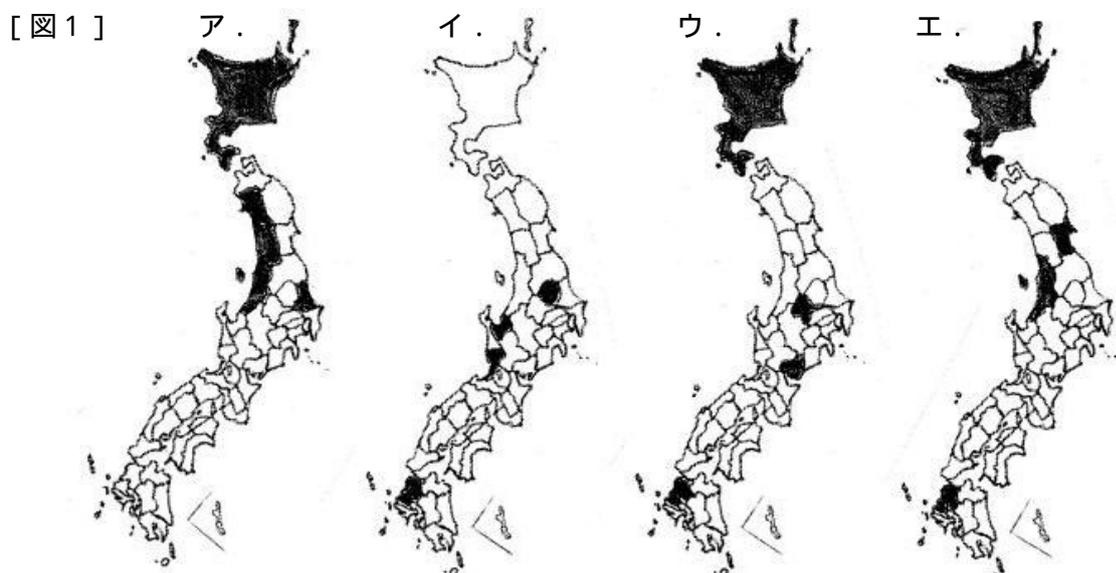
次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

昔から日本人が食生活の中心にしてきた穀物が米です。しかし、第二次大戦後は、人々の食生活が変化し、1970年ごろになると米が余るようになり、国は対策に乗り出しました。かわって多く消費されるようになったのが、小麦や A 類、乳製品、野菜、果実などです。また、人の食糧としても重要な B が、わが国では A 類生産のために大量に輸入されています。

(1) 空らん A・B に当てはまる語句の組み合わせとして正しいものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア．A = 肉、B = とうもろこし イ．A = 豆、B = こうりゃん
 ウ．A = 肉、B = ひえ・あわ エ．A = 豆、B = そば

(2) 下線部 について、[図1]は、米、小麦、大麦、大豆の収穫量(2012年)のうち、上位5位の都道府県の分布を示している。米を示すものを図中のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。



(地理統計要覧 2015 より作成)

(3) 下線部 について、この対策を何というか、漢字で答えなさい。

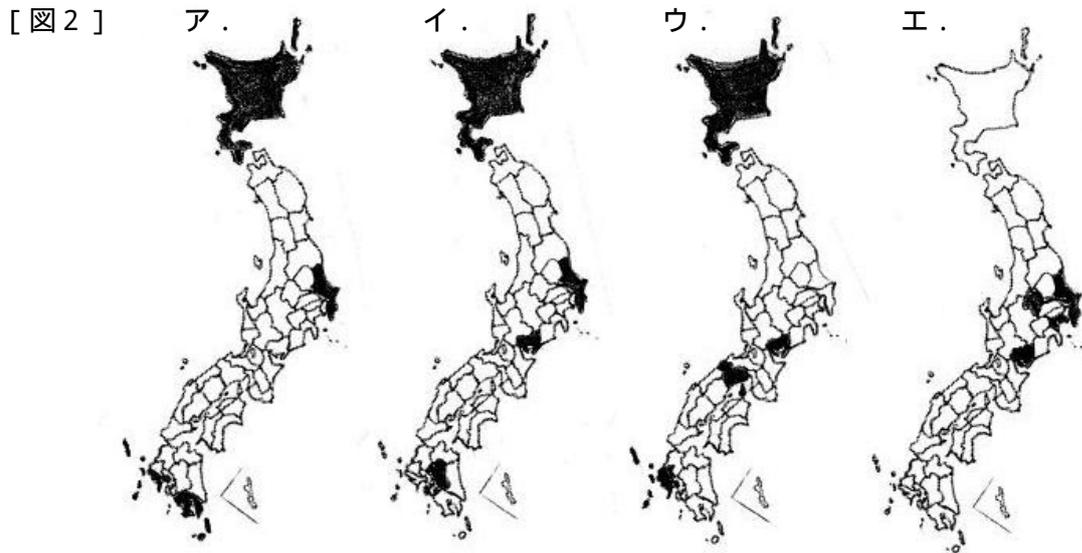
(4) 下線部 について、[表1]は、乳牛、肉牛、豚、採卵鶏の飼育数(2012年)のうち、上位5位の都道府県の割合を示している。乳牛を示すものを表中のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

[表1]

ア.		イ.		ウ.		エ.	
北海道	19.6	北海道	56.7	茨城	7.2	鹿児島	14.0
鹿児島	13.0	栃木	3.7	千葉	6.8	宮崎	9.1
宮崎	9.2	岩手	3.2	鹿児島	5.7	千葉	6.8
熊本	5.2	熊本	3.1	愛知	5.7	群馬	6.5
岩手	3.9	群馬	2.7	広島	5.0	北海道	6.1

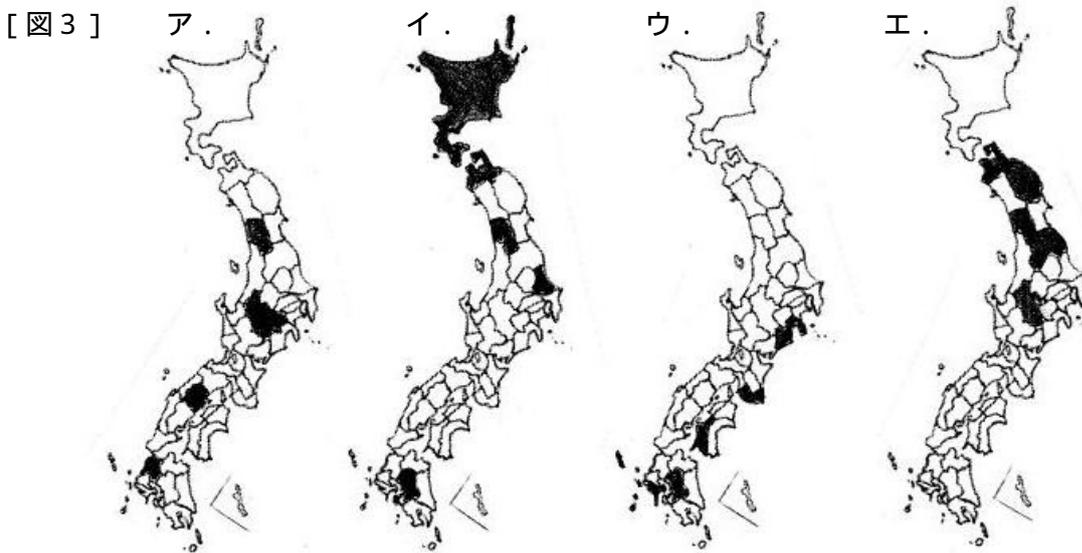
(単位：% . 日本国勢図会 2013/14 より)

(5) 下線部 について、[図2]は、キャベツ、たまねぎ、トマト、じゃがいもの収穫量(2012年)のうち、上位5位の都道府県の分布を示している。キャベツとたまねぎを示すものを図中のア～エから1つずつ選び、記号で答えなさい。



(地理統計要覧 2015 より作成)

(6) 下線部 について、[図3]は、みかん、りんご、ぶどう、メロンの収穫量(2012年)のうち、上位5位の都道府県の分布を示している。みかんとりんごを示すものを、図中のア～エから1つずつ選び、記号で答えなさい。



(地理統計要覧 2015 より作成)

(問題は以上です)

(1)		(2)				(3)	
(4)	i)				天皇	ii)	
(5)		(6)					
(7)					銀山		
(8)					製鉄所		
(9)							
(10)	i)				ii)		

(1)	i)		ii)		(2)	i)		ii)		家族
(3)	i)		ii)		(4)	i)		ii)		
(5)	i)		ii)							

(1)		(2)		(3)	
(4)		(5)	キャ ベツ		たま ねぎ
(6)	みかん		りんご		

受験 番号		得 点	
----------	--	--------	--

(1)	工	(2)	日	本	書	紀	(3)	ウ
(4)	i)	聖武			天皇	ii)	行基	
(5)	イ	(6)	文	明	開	化		
(7)	石見				銀山			
(8)	八幡				製鉄所			
(9)	ウ							
(10)	i)	田中正造			ii)	水俣病		

(1)(3)(5)(9)各1点,(2)(4)))(6)(7)(8)(10)))各2点

(1)	i)	ウ	ii)	工	(2)	i)	ア	ii)	核	家族
(3)	i)	ア	ii)	ウ	(4)	i)	ア	ii)	イ	
(5)	i)	イ	ii)	工						

(1)))各2点,(2)))各2点,(3)))各2点,
(4)))各2点,(5)))各2点

(1)	ア	(2)	ア	(3)	生産調整(減反)				
(4)	イ	(5)	キャ ベツ	エ	たま ねぎ	ウ			
(6)	みかん	ウ	りんご	エ					

(1) ~ (4)各3点,(5)(6)各2点

受 験 番 号		得 点	
------------------	--	--------	--